



社会福祉法人 めぐみ会

2024 年度 事業報告

第 1 号議案 2024 年度事業報告案

[2024/4~2025/3]

第 2 号議案 2024 年度決算報告案

<目次>

I. 法人理念および方針	1
II. クレド	2
III. 2024 年度事業報告	3
①法人本部	3
②かしの木ケアセンター	9
③生活介護くろす	15
④相談支援センターかしの木	17
⑤地域生活サポートセンターらいと	19
⑥のびる作業所	20
⑦すてっぴ	23
●2024 年度 委員会報告	25
IV. 2024 年度決算報告	30
●2024 年度決算について	30
●2024 年度決算	32

I. 法人理念および方針

理念

社会福祉法人めぐみ会は地域と共に歩み、地域の福祉を担います。

私たちは地域の社会福祉の担い手として、共に暮らしている隣人たちと考え、創り、社会福祉活動を推進していきます。また社会福祉法人としてのあるべき姿を追求し、地域に必要とされる法人を目指します。

方針

地域福祉の推進

私たちはすべての人の「しあわせ」を考えた地域を目指します。

私たちが暮らしを営む中で、「しあわせ」を感じる時には、満足感や安らぎ、そして自然と笑顔がこぼれます。「福祉」とは「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味します。私たちが考える社会福祉とは、生活上支援が必要な方に生活の質が維持、向上するためのサービスを提供する事です。こうした活動の中で、支援を必要とする方々を含め、より多くの方が「しあわせ」を感じる事の出来る地域を目指します。

権利の尊重

私たちはすべての人の尊厳を尊重し、自分らしさの実現を支援します。

憲法で保障された基本的人権の尊重を遵守し、差別なく、どのような個性や環境をお持ちの方であっても、私たちはその人らしさを大切にし、その言葉や意向に耳を傾けます。そして生活の中での楽しみや働く喜びなど、自分らしさを実現する支援をします。

法令の遵守

私たちは法令を遵守して、社会に信頼される法人であり続けます。

社会福祉法人は公共の利益を目的とした法人です。私たちは法令を正しく守り、社会の信頼を得るために積極的に情報公開や説明責任を果たします。

人材の育成

私たちは専門家としての自覚を持ち、創造力と向上心を発揮する職員を育成します。

私たちは人の「しあわせ」を目的としており、人との関わりが非常に大切です。専門職としての充実と共に人間力が必要とされます。法人は職員を人として、なおかつ福祉従事者として十分に成長出来るような取り組みをし、地域が必要とする人材を育成します。

経営の安定

私たちは持続可能な福祉の実現に向けて、経営基盤の安定に努め、社会的責任を果たします。

国の施策方針や景気の変化にも耐えうる為の経営努力を怠らず、なおかつ安定したサービスの提供を継続していくことが、めぐみ会に与えられた社会的責任と考えます。

職場環境の充実

私たちは心身共に健康で、安心して長く働ける職場環境をつくります。

質の高いサービスを提供する為には職員が心身共に健康でなければなりません。その為に生活と仕事のバランスがとりやすい職場環境を配慮し、職員が健やかで長く勤められる職場を目指します。

CREDO

～私たちの使命と求める職員像～

私たち社会福祉法人めぐみ会は、地域の福祉を担うため社会から多くの求めを受けています。それを私たちは自らの使命として掲げその務めを果たします。

私たちの使命は、地域社会のしあわせを考えた組織活動を行うことです。それは私たちが地域社会の一員であり地域と共に歩む存在だからです。

- 1) 法令を遵守し、誰からも信頼される組織作りを行います。
- 1) 地域の活動に積極的に参加します。
- 1) 地域の方々にめぐみ会の活動を発信します。
- 1) めぐみ会内外の人々の声に耳を傾け、社会福祉法人として正しい行いをします。

私たちの使命は、利用者・家族に安心してサービスを利用していただける環境を作ることです。

それは、私たちが利用者の自分らしく自立（自律）した暮らしの実現を強く願っているからです。

- 1) 利用者の思いを第一に同じ目線で考え、行動します。
- 1) 利用者の状況把握に努め、適切なサービスを提供します。
- 1) 利用者・家族へ対する敬意を忘れることは決してありません。
- 1) いつも元気にあいさつをし、すべての人々とのコミュニケーションを大切にします。

私たちの使命は、専門職としての価値観を持ち、社会人として責任ある行動をとることです。

それは私たちが知識・技術を持つ福祉専門職であり、個性ある人格を有した社会人だからです。

- 1) 社会人として礼儀を重んじ、自らの言動に責任ある行動をします。
- 1) 常に向上心を持ち、どのような場面からも学ぶ姿勢を忘れません。
また、すべての職員が能力の開発の為その機会を得ることができます。
- 1) 一人一人の職員は認められた存在です。互いを尊重し認め合うことでより良い職場環境を自らの手で作り出すことができます。

第1号議案

②各計画およびスケジュール

法人本部：総務係

第4期3か年計画

- 1 新型コロナウイルス対策を継続し、堅実な事業運営を行います。
- 2 地域が必要とする資源を開拓します。
- 3 職場環境の整備・充実に向けた取り組み
- 4 地域交流・地域福祉への取り組み
- 5 経営基盤安定に向けた継続的な取り組み
- 6 施設の老朽化・整備に対する取り組み
- 7 地域に向けた広報活動の取り組み
- 8 職員採用の完全な充足
- 9 高品質のサービス提供を担える人材育成
- 10 職員定着に向けた取り組み

2024年度取り組み

1 新型コロナウイルス対策を継続し、堅実な事業運営を行います

実施内容	実績
◆感染症対策委員会を継続し、事業継続支援チームおよび各事業所での訓練をおこないます。	実施。 (評価) 毎月第1金曜日に感染症対策委員会を開催。その他、テスト及び訓練実施(感染症対策指針及び感染症発生時における業務継続計画、及び行動確認、ガウンテクニック)
◆感染症マニュアルおよび新型コロナウイルスBCPの更新を継続します。	事業所ごとに随時更新。 (評価) 事業所ごとに随時更新。
◆感染症対策委員会による各事業所のBCP周知および訓練のチェックをします。	実施 (評価) 委員会内でBCPの更新確認及び訓練進捗管理を実施。

2 地域が必要とする資源を開拓します

実施内容	実績
◆ふじみ野拠点事業(ブランド名:ふじみ野SPACE)開始に向け、準備します。 ①生活介護事業について準備室の設立及び職員の配置をおこない、事業運営の検討をおこないます。 ②すでに設置している共同生活援助事業(いっぽ)の準備室にて、継続して事業運営の見直し及び検討をおこないます。 ③ふじみ野拠点事業所内への地域生活支援センターらいと の移転準備をします。	①実施。 (評価) 準備室設立、職員の配置済み。毎月、生活介護準備室会議にて事業運営の検討。 ②実施。 (評価) ふじみ野SPACEの職員向け説明会実施 配食サービス、設備の情報収集をおこなう。 ③未実施。
◆訪問看護事業開設に向け取り組みます。 ①職員配置2.5名の配置をおこないます。 ②指定申請をおこないます。 ③運営内容について検討します。 ④請求の仕組みを確認します。	①未実施 ②未実施 ③未実施 ④未実施

3 職場環境の整備・充実に向けた取り組み

実施内容	実績
<p>◆業務の効率化を図る為、業務用ソフトウェアの導入を継続して検討し、労働時間削減に取り組みます。</p> <p>①ワークフローの検討</p>	<p>①実施 (評価) ワークフローについて、3社のシステム、価格を比較検討までできたことは評価できる。</p>
<p>◆有給休暇を含む休日数を、年間117日を目標とします。</p> <p>①有給休暇取得向上に向け、年間2日リフレッシュ休暇の計画的付与に取り組みます。</p> <p>②有給休暇取得向上に向け4連休取得を計画的に取り組みます。</p>	<p>①59人/75名 取得済み ②70人/75名 取得済み (評価) リフレッシュ休暇および4連休取得については、取得状況を各事業所に周知して、概ね取得できたことは評価できるが、対象者全員取得は未達成。</p>
<p>◆オンラインでの研修に参加できるよう環境を整備します。(Wi-Fi環境の整備)</p>	<p>未実施 (評価)Wi-Fi環境の現状調査および次年度に計画。</p>

4 地域交流・地域福祉への取り組み

実施内容	実績
<p>◆めぐみ会利用者と地域の方が一緒に参加できる法人行事を実施します。</p> <p>①法人全体行事については、コロナ禍前に近い形で開催できるよう検討します。</p> <p>②利用者の文化芸術活動を発表する機会を設け、社会参加を促進します。</p>	<p>①2024年9月29日めぐみ祭り実施 コロナ禍前のように外部の方も参加。</p> <p>②実施 (評価) コロナ禍前に近い形で、他事業所や地域の団体に協力してもらい開催。</p>
<p>◆ふれあいセンター事業を三芳町社会福祉協議会と連携し、地域の方と日常的に交流できる環境づくりをします。</p> <p>①高齢者買い物支援事業「かいものツアー」を実施します。</p> <p>②SNSを活用し交流活動を発信します。</p>	<p>①実施 上半期、買い物ツアーに添乗。</p> <p>②実施 SNSに買い物ツアーの記事を掲載。 (評価) 月に1回のふれあいセンターとの定例会で情報共有や課題検討をおこない、ふれあいセンターと協力して、実施できたことは評価できる</p>
<p>◆地域の福祉避難所として設備整備を検討します。</p> <p>①設備整備を検討します。(かしの木蓄電システム)</p>	<p>①未実施。 (評価) 蓄電システムの情報収集については、随時収集。施設に最適な蓄電システムを検討。</p>
<p>◆三芳町施設連絡協議会を通して、地域の他事業所と連携して地域福祉に貢献します。</p> <p>①三芳町施設連絡協議会の福祉避難所運営マニュアルの改訂に参画します。</p>	<p>①未実施 (評価) 三芳町施設連絡協議会の動向に合わせて参画していきます。</p>
<p>◆生活困窮者担当相談員を配置し、生計困難者支援を実施します。</p>	<p>実施。 (評価) 相談員2名を配置し、2件の支援を実施。</p>
<p>◆地域貢献事業として「学福連携プロジェクト」に参加します。※詳細別添</p> <p>①1名の専門学校奨学生支援をします。</p> <p>②将来地域福祉の中核的役割を担う介護人材育成を、地域の学校と共に引き続き取り組みます。</p> <p>③専門学校入学者増加に向けた検討を続けます。</p>	<p>①該当者なし ②未実施 ③学福連携事業がモデル事業として厚労省からのヒヤリングをおこなった。</p>

5 経営基盤安定に向けた継続的な取り組み

実施内容	実績
◆6か年の中期経営計画を作成します。	未実施。次年度で計画予定。
◆資金収支差額（修繕積立前）が黒字化することを目標とします。 ①資金収支差額 0.4%を目標とします。	①未達成 0.11% （評価）次年度の新規事業に関わる人員の人件費を捻出できたことは評価できる
◆年間事業活動収入8億円を目標とします。	未達成 790,378 千円（執行率98.9%）

6 施設の老朽化・整備に対する取り組み

実施内容	実績
◆経年劣化による改修を計画的におこないます。 ①改修計画を引き続き検討、実施します。	①随時、実施。 （評価）受水槽入替を検討し、補助金申請し採択された。次年度に受水槽入替を計画。
◆契約期間満了時期を考慮して賃貸やリース物件等の精査をします。 ①IT機器 ②厨房機器 ③車両関係	①未実施 （評価）かしの木にインカム機器を補助金で購入。 ②実施 （評価）スチームコンベクション等を入替。 ③未実施
◆減価償却期間経過物件の入れ替えを検討します。 （車両や設備機器等） ①各事業所の機械設備・建物修繕を検討します。	①実施 （評価）受水槽入替えを検討済み。

7 地域に向けた広報活動の取り組み

実施内容	実績
◆広報、ブランディング担当を配置し、法人のサービス紹介や宣伝に取り組みます。 ①広報の研修に参加します。 ②SNS・YouTubeの投稿を対前年度比50%UPし、PR活動に取り組みます。 ③M-Pシステム等を活用し対法人内情報共有を図ります。 ④法人パンフレットのリニューアル検討を開始します。	①実施 （評価）5月28日経営協の広報研修に参加。研修講師から直接広報戦略のアドバイスをもらった。 ②実施 （評価）SNS110本（前年度比(94本)117%） YouTube44本（昨年度比(2本)220%） ③実施 （評価）掲示板に福利厚生、イベント情報を掲載。 ④未実施 （評価）次年度、検討。
◆採用活動の戦略的な取組に対応する広報を強化します。 ①採用に関するツールの（パンフレット、サービス、SNS等）効果的な活用方法を検討します。 ②他団体、企業、学生と交流し、採用活動に有効な広報を研究します。	①実施（評価）採用パンフレット2025年度版を検討。次年度冊子完成予定 ②実施 （評価）学生起業家（株式会社musbun）との交流、文京学院、埼玉福祉、秋草学園でワークショップを開催。
◆ふじみ野SPACEブランドに関する広報活動を行います。 ①ふじみ野SPACE広報戦略を作成します。 ②アニメーション動画を編集し、ふじみ野SPACE広報に活用します。 ③ふじみ野SPACEパンフレットを作成します。 ④ふじみ野SPACE広報グッズを作成します。 ⑤ふじみ野SPACE事業所の外観、展示物の検討をします。 ⑥宣伝効果を主とした会議室活用方法の検討をします。	①実施（評価）広報戦略完成。6月の職員会議で発表。 ②実施（評価）総集編を作成しホームページに掲載。またふじみ野SPACE説明会で公開。 ③実施（評価）パンフレット作製済み ④実施（評価）サーフボード、テーブルクロス、Tシャツ、ピンバッジを作成。 ⑤実施（評価）生活介護事業準備室にて外観、内装等検討済み。 ⑥実施（評価）文京学院、埼玉福祉、秋草学園でのワークショップで、会議室活用方法をテーマに学生の意見を聴取。

法人本部：キャリアセンター

第4期3か年計画

- 8 職員採用の完全な充足
- 9 高品質のサービス提供を担える人材育成
- 10 職員定着に向けた取組み

2024年度取組み

8 職員採用の完全な充足

実施内容	実績
<p>◆2025年卒者を5名獲得します。</p> <p>①介護、保育等実習生の積極的な受入れと受け入れ時のアピールを強化します。</p> <p>②各種イベントや施設の取組みにおける学生ボランティアの受入れを30%UPします。</p> <p>③養成校講師派遣の継続と職員獲得に向けた取組の強化</p> <p>④インターンシップを活用した採用に取り組めます。</p>	<p>2025年卒者を2名採用した。</p> <p>①上半期実習生の受入れ6名。キャリアセンター職員がカンファレンスに同席した。</p> <p>下半期実習生の受入れは9名。実習を経て1名が採用となった。</p> <p>②「かしの木ボラ部」を創設。</p> <p>上半期ボランティアの受入れ数は18名。</p> <p>下半期は2名。目標の30%UP(44名)には届かなかった。</p> <p>③秋草学園、埼玉福祉にて講師派遣を継続中。</p> <p>2025年度より2名の増員が決まった。合計4名。</p> <p>④マイナビを窓口としたインターンシップの募集を開始。上半期の受入れ実績は0名。新卒採用プラットフォームのキャリアシーを導入。下半期の受入れ実績1名。</p> <p>(評価) 予定数を達成できなかった。次年度以降に向けて、ボランティアや実習生の受入れ、養成校講師などの土台作りができたことは評価できる。またこうした土台作りが採用経費削減につながることを期待できる。</p>
<p>◆外国人人材（特定技能）を2名採用します。</p> <p>①Kaigo福祉Labとの連携。</p>	<p>下半期6名を採用した。(フィリピン3、モンゴル3)</p> <p>(評価) 予定数を超えての採用となり、育成の課題が顕在化。今後の外国人育成の取組みを検討、実施できる機会ともなった。また慢性的な人材不足（特に夜勤）の解消につながった。</p>
<p>◆キャリア採用者を2名獲得します。</p> <p>①Kaigo福祉Labとの連携。</p>	<p>上半期のキャリア採用は2名。</p> <p>下半期のキャリア採用は4名</p> <p>(評価) 想定を超えた採用ではあったが、非常勤、派遣からの転換が3名おり、職場環境の充実が転換の要因となっていたことはポジティブに評価できる。</p>
<p>◆看護師2名（入所支援担当1名、訪問看護担当1名）獲得します。</p>	<p>上半期の看護師採用は0名。</p> <p>下半期の看護師採用は1名（入所担当非常勤）。</p> <p>(評価)</p> <p>取組中のリファラル採用で成果があったことは評価できる。</p>

9 高品質のサービス提供を担える人材育成

実施内容	実績
<p>◆新人研修（新卒）、中堅研修（3～5年目）を実施します。</p> <p>①新人研修</p> <p>②中堅研修</p> <p>③リーダー養成研修</p> <p>④リーダー研修</p> <p>⑤経営幹部候補者研修</p>	<p>①対象8名について計画通り実施した</p> <p>②対象5名について計画通り実施した。</p> <p>③対象3名について計画通り実施した。</p> <p>④未実施（対象者なし）</p> <p>⑤階層別研修（中堅、リーダー養成）にて法人理念や法令遵守に関する講義を担当した。管理職の育成を目的とした1on1を延べ46回行った。</p> <p>(評価) 予定通り実施できた。</p>

実施内容	実績
<p>◆介護福祉士国家資格の取得支援に取り組みます。</p> <p>①SDSの広報 ②勉強会の実施</p>	<p>①経営会議等においてSDSの説明および広報を行った。 1名が制度を活用して介護実務者研修を受講した。 また、2023年度、2022年度の受講決定分をそれぞれ1名ずつ執行できた。</p> <p>②キャリアセンター主催の介護福祉士国家試験対策の勉強会を9月から12月の期間で実施した。 (評価) 本年度受験した3名が全員合格できた。SDSについては徐々に浸透してきており、キャリアセンターあての問い合わせも増加傾向にある。</p>
<p>◆外国人スタッフの育成に取り組みます。</p> <p>①介護技術指導 ②日本語教育</p>	<p>①②新人外国人育成プログラムを新たに作成した。</p> <p>②地域の日本語教室及び外国人コミュニティの開拓のための調整を行った。 2025.2月よりオンラインによる日本語教育を開始した。 10名の外国人スタッフが受講中。 (評価) 育成プログラムについては、その活用状況やプログラム内容の振り返りが必要。</p>
<p>◆外国人人材の教育スタッフを育成します。</p> <p>①実務者研修教員講習修了者3名 ②介護福祉士養成校の講師増員 ③英語学習を開始</p>	<p>①3名が教員講習の受講を修了した。</p> <p>②秋草学園、埼玉福祉にて講師派遣を継続中。2025年度より2名の増員が決まった。合計4名。</p> <p>③4月よりオンラインにより英会話教室(自己研鑽・福利厚生)を開始した。12名登録し、9月時点で5名程度が継続的に利用している。 2025.3月末にて終了した。 (評価) 予定通り実施できた。英語学習については福利厚生の一部であるとともに、外国人スタッフに対する日本語の教育方法のモデルとなった点で有用であった。</p>
<p>◆研修計画に基づく研修を実施します。</p> <p>①法定研修を一元的に管理します ②キャリアパス研修を計画的に実施します</p>	<p>①サビ管研修、相談初任者研修等について受講管理を行った。 また、感染症・災害対策等の研修について情報提供および進捗の確認を行った。</p> <p>②階層別研修、法定研修、SDS等の研修について計画通り進捗している。研修計画外の取組みとして、新たに2年目研修をおこなった。 (評価) 予定通り実施できた。新たな2年目研修も実施でき、職員定着の課題に着手できたことは評価できる。</p>

10 職員の定着に向けた取組

実施内容	実績
<p>◆職員の3年定着率80%を達成します。 （2020年入職者から3年間平均）</p> <p>①職員面談の体系化 ②法人理念の共有に向けた取組の実施</p>	<p>3年定着率の実績 2020.4.1～2022.3.31 1/5（20%） 2021.4.1～2023.3.31 4/6（66.7%） 2022.4.1～2024.3.31 2/6（33.3%） ※（）内はある年度に入職した職員が3年後に在席していた割合（定着率） [参考：正職員の離職率] 2022年度 6.8% 2023年度 14.7% 2024年度 5.1%</p> <p>①新人面談を年3回と定め進捗を管理した。また主にかしの木ケアセンター及びびくろすについて、2年目の職員と異動対象者を中心に1on1を延べ97回行った。 ②新人研修、中堅研修、リーダー養成研修において法人理念に関する講義をおこなった。 また主にかしの木ケアセンター及びびくろすにおいて「いい仕事事例収集」をおこなった。 ※法人理念やクレドに則した「いい仕事」を見つけ、互いに投稿しあう取り組み。 2024年度内で245件の投稿があった。 （評価）目標の定着率には至らなかった。ESの結果からもエンゲージメントの強化とコミュニケーションに課題があることがわかっており、これに着手できたことは評価できる。</p>
<p>◆ES（従業員満足度）を実施し、職場環境の改善について検討、実施します。</p>	<p>6月にESの調査を実施した。 理念共有の強化、コミュニケーションスキルの向上が職員定着の課題であると認識し、2025年度の研修課題とした。 （評価）予定通り実施できた。</p>
<p>◆2025年卒内定者の内定式をおこないます。</p>	<p>内定式としては実施できず。2025.3月に歓迎会として、映画館で実施した職員会議内で辞令交付、職員紹介などをおこなった。 （評価）想定とは違った形ではあったが実施できたことは評価できる。内外に対するブランディング、新入職員とのエンゲージメント向上に期待できるとともに、新たな会議の方法を模索する機会となった。</p>

かしの木ケアセンター：入所支援係

■第4期3か年計画

- 11 地域の一部として担うべき機能の調査と強化
- 12 利用者の多様なニーズに合わせた取り組み
- 13 こころもからだも健康で知識技術を携えた質の高い支援者の育成と定着
- 14 快適な生活を送るための環境整備

■2024年度取り組み

11 地域の一部として担うべき機能の調査と強化

実施内容	実績
◆施設に求められる利用ニーズを調査継続し評価をします。	受け入れに至らなかったケース 上半期：4件下半期：3件 (評価) 前年度に引き続き、一定の割合で夜間に医療的ケアが必要なケースであった。一方で新規で受け入れたケースの過半数が先天性の身体障害、知的障害を重複で持つ方であり、必要とされる体制を根拠づけることができていない。次年度より、医療機関への受け入れ体制を強化することが必要とされる。
◆ショートステイの受け入れ、年間平均60%を目指します。	未達成。受け入れ平均利用率 上半期：51% 下半期：55.3% (評価) 施設入所が年間通して満床であったことで施設入所希望者からの利用相談が少ないこと、新規SSの利用相談が減少傾向にあることが要因となっている。入所希望者の空床待機としての機能を持たせることで利用希望者とのマッチングができることが明らかになったことは評価できる。
◆生活困窮者への支援を継続します。	2名の支援を実施。 (評価) 支援を通じ、事業の必要性が確認されたため、次年度も継続とする。支援員の増員ができたことは評価できるが実際の支援に入る機会がなかったため育成は次年度継続となる。
◆地域住民との交流の機会を設けます。	・ボランティアを活用し、買い物外出の実施、めぐみ祭りに参加。 ・たのしい健活としてふれあいセンター利用者に2回の講座を実施。 (評価) 定例で交流の機会やボランティアを活用した外出の機会を再開できたことは評価できる。次年度も継続しつつ、今後は、災害時の協力体制や施設の認知度が深まるよう頻度を増やしていく必要がある。

12 利用者の多様なニーズに合わせた取り組み

実施内容	実績
◆ユニット体制の評価および見直しをします。	ユニット実施率の偏りを解消するため、配置職員の見直しを実施。 (評価) ユニットパートの所属を廃止したことで、その日の配置状況、急な勤務変更にも混乱なく、柔軟に活動提供できるようになったことは評価できる。次年度はより個性を重視し、利用者の参加する活動が柔軟に選べる仕組み作りが求められる。

実施内容	実績
◆外出の機会を確保します。	埼玉県身体障害者施設協議会のボッチャ大会に参加。 ユニット外出の実施。 (評価)入所者全員を対象に外出の機会を確保できたことは評価できる。一方、個別の希望に応じた外出の機会は少なかつたため、個別外出の仕組みを体系化していく必要がある。
◆地域生活希望者に見学会を2回以上実施します。	グループホームの見学会を2回、6名の利用者に実施。 (評価)施設利用者全体に見学会を複数回実施できたことは評価できる。見学者の話聞き、さらに見学を希望される方、体験利用の希望される方に向け、継続的な取り組みと気軽に体験できる仕組み作りが必要となる。
◆かしの木基本サービスに基づいた支援を実施します。	ケアステーション内に再掲示。 (評価)継続的に取り組めたことは評価できる。一部分、職員によって認識や解釈に差が生じているため、今後の課題となる。

13 ころもからだも健康で知識技術を携えた質の高い支援者の育成と定着

実施内容	実績
◆障害者権利擁護に関する研修会を開催します。	グレーゾーン研修を全職員受講。 グレーゾーンチェックを実施、認識の偏りの大きい事例の共有を実施。 (評価)全職員の研修受講は完了したが、通報事案があったことから、取り組みとして十分でなかったと言える。職員個々の権利擁護に関する認識把握と多くの事例共有を通して理解を深めていく必要がある。
◆知的、精神障害に対する支援の知識・技術の向上に取り組めます。 ①強度行動障害支援者養成講習を1名以上受講します。 ②高次脳機能障害支援者養成講習を1名以上受講します。	①1名受講 ②1名受講 (評価)予定通り実施できたことは評価できる。伝達研修の実施には至らなかったため、継続実施が必要となる。
◆心身ともに健康な職員を育成します。 ①夜勤者とのカンファレンスの継続。	夜勤者とのカンファレンスを実施。 上半期:46回 下半期:60回 計:106回 (評価)困難ケースの共有や対応検討の場としてだけでなく、職場環境に関する課題抽出の場となっていたため継続とする。
◆心身の負担軽減と効率化を目的とした業務改善に取り組めます。 ①業務マニュアルに基づいた業務遂行を強化します。 ②職員の役割を明確化し、業務効率向上にとりくみます。 ③介護現場での課題に特化した意見交換の場を設けます。	①業務マニュアルを改定。 ②インカムシステム導入し、試験的な運用開始。 ③生活支援員によるどんぐりミーティングを月に1回開催。 (評価)業務効率化に向けての課題抽出と解消に向けた準備ができたことは評価できる。次年度は実運用を開始し、効果測定をおこなっていく。

14 快適な生活を送るための環境整備

実施内容	実績
◆新たな福祉機器を試験的に導入します。 ①QOL向上のため、VRデバイスを導入します。	①シュミレータールーム設置し、VRデバイスを導入。 (評価)デバイスを導入できたことは評価できる。次年度は実運用を開始し、効果測定をおこなっていく。
◆施設の老朽化に対する修繕を実施します。	一部壁紙の張替えを実施。水道、居室エアコン等の修繕を実施。 (評価)故障箇所に対し、早急に対応できたことは評価できる。

かしの木ケアセンター：健康支援係

第4期3か年計画

- 15 看護師が医療機関で研修を受ける機会を作りサービスの向上を図る
- 16 利用者の動作能力を活かせるようトランスファー技術向上に取り組む
- 17 入所施設で認知症・褥瘡・便秘の予防に取り組む
- 18 通所（くろす）における感染予防対策強化とリハビリの充実
- 19 在宅支援事業の訪問看護開始に向けての取り組み

2024年度取り組み

15 看護師が医療機関で研修を受ける機会を作りサービスの向上を図る

実施内容	実績
◆医療に関する専門的知識を習得します。 ①医療機関や医療機器メーカー等主催の研修に参加します。	国際福祉機器展に看護師1名参加。 (評価) 医療機関等主催の研修には参加できなかった。(人員配置、該当する研修が未開催による)

16 利用者の動作能力を活かせるようトランスファー技術向上に取り組む

実施内容	実績
◆PTが中心となり、ケアワーカーが利用者の状態変化に応じたトランスファー方法を見出し、それを他のケアワーカーにOJTできるようにします。	女性CW1名が利用者1名に対し、本人の起立・立位機能を活かした方法を見出し他のCWへのOJTを実施できた。 (評価) 男性CWについてはOJTを実施できなかったため次年度へ持ち越し。

17 入所施設で認知症・褥瘡・便秘の予防に取り組む

実施内容	実績
◆認知症予防に取り組めます。 ①個別の取り組みに加え、グループでの取り組みを実施します。 ◆便秘予防に取り組めます。 ②腹部マッサージを継続し、頓服下剤服用または浣腸回数が全体の10%減少するよう目指します。	①年間通して創作リハビリを毎月実施でき、ユニット活動内で認知症プログラムが定着された。 ②2023年度の下剤追加・浣腸実施率は76%、2024年度の平均は88%と増加しているため未達成。腹部マッサージ対象者は個別支援計画に追加されるようになっている。 (評価) ニーズの多い認知症プログラムが定着したことは評価できる。一方便秘予防については成果が表れなかったため、次年度も継続実施とする。

18 通所（くろす）における感染予防対策強化とリハビリの充実

実施内容	実績
◆2024年度はくろすに移動	

19 在宅支援事業の訪問看護開始に向けての取り組み

実施内容	実績
<p>◆職員配置のための人材を確保します。</p> <p>①かしの木の夜間コール体制を見直します。</p>	<p>下半期に夜間コール対応はドクターメイトを活用。相談件数11月～1月は11～12件。2月25件、3月42件。1月より看護師1名増員。</p> <p>(評価) 夜間コール体制を外部サービスに委託したことで、係内業務の効率化、負担軽減が図られたことは評価できる。また、継続的な利用により人材確保においても効果が見込まれる。</p>
<p>◆人材育成のための研修に参加します。</p> <p>①訪問看護に必要な研修を受講します。</p> <p>②精神科のある医療機関で研修を受けます。</p>	<p>①②未実施</p> <p>(評価) 1月より看護師1名増員できたが、研修参加には繋がらなかった。</p>
<p>◆事業開始のための準備を進めます。</p> <p>①理念や方針を決定します。</p> <p>②サービスエリアを決定します。</p>	<p>未実施。</p> <p>(評価) 看護師は確保できたが、事業開始については見直すこととなった。</p>

かしの木ケアセンター：栄養係

第4期3か年計画

- 20 衛生的かつ安心・安全で良質な食事の提供
- 21 利用者に喜ばれる食事の提供
- 22 おいしい食事の提供

2024年度取り組み

20 衛生的かつ安心・安全で良質な食事の提供

実施内容	実績
<p>◆厨房職員との情報共有・連携を強化します。</p> <p>①月1回の給食会議で献立の検討や意見交換をおこないます。</p> <p>②厨房職員との業務ノートを活用し、日々の連絡事項において共有を図ります。</p>	<p>①毎月第3木曜日に給食会議を実施し、意見交換をおこなっている。</p> <p>②業務ノートへの記入のほかにも、厨房の朝礼に参加し、日々情報共有を図っている。</p> <p>(評価) 日々のコミュニケーション、情報共有を重ね、安心安全な食事提供をおこない、事故に対して早急な対応・防止策の取り組みがおこなわれたことは評価できる。</p>
<p>◆施設入所者の食形態の見直しをおこないます。</p>	<p>食事摂取状況の確認およびご利用者のご要望を多職種と情報共有し、必要性の高い方の食形態を変更した。</p> <p>(評価) 日々の食事摂取状況の確認やご利用者との関わり、他職種との情報共有により、食形態の見直し、安心な食事の提供につながったことは評価できる。</p>
<p>◆定期的な個々の栄養評価・経過観察(栄養ケアマネジメント)を継続実施します。</p>	<p>定期的に体重測定や食事摂取状況の確認をおこない、個々の栄養評価を継続実施している。</p> <p>(評価) 栄養ケアマネジメントの実施により、他職種との情報共有を図り個々の栄養管理につながったことは評価できる。</p>

21 利用者に喜ばれる食事の提供

実施内容	実績
<p>◆月6回以上、選択食を提供します。</p>	<p>毎月7回以上実施。</p> <p>(評価) 計画通り実施できたこと、掲示物でお知らせをおこない、ご利用者や職員に楽しみにしていただけるよう工夫をおこなったことは評価できる。好評の為、継続の必要性がある。</p>
<p>◆イベント食を提供します。</p> <p>①季節の行事に合わせた食事を提供します。</p> <p>②47都道府県各地のご当地メニューを年6回以上提供します。</p>	<p>①端午の節句や土用の丑の日など季節の行事に合わせたイベント食を実施している。</p> <p>②4月・6月・8月・10月に提供済み。2カ月に1回提供している。</p> <p>(評価) 掲示物でお知らせをおこない、ご利用者・職員に楽しみにしていただけるよう工夫したこと、厨房と連携し、行事食やイベント食を計画通り実施できたことは評価できる。高評価に至ったため、今後も継続していく。</p>
<p>◆リクエスト食を提供します。</p> <p>①毎月ユニットごとにリクエストを募集します(各ユニット年6回担当制)。</p> <p>②毎月くろすからのリクエストを募集します。</p>	<p>毎月ユニット、くろすからリクエストを募集し、15個以上取り入れ、掲示物等でお知らせをしている。</p> <p>(評価) 計画通り実施できたこと、掲示物でお知らせをおこないご利用者に楽しみにしていただけるよう工夫をおこなったことは評価できる。</p>
<p>◆かしの木オリジナルメニュー第一弾を地域のイベントで販売します。</p>	<p>めぐみ祭りで販売をおこない、厨房職員と振り返りをおこなった。今後、地域のお祭りなどで販売予定。</p> <p>(評価) 販売に向けて厨房と検討をおこない、計画通り実施できたことは評価できる。次年度も、お祭りでの販売を予定。</p>

22 おいしい食事の提供

実施内容	実績
◆食卓の一部変更 {テーブルの購入} をおこないます。	実施済。 (評価) 購入、設置を行い計画通り実施できたことは評価できる。次年度も追加購入予定。
◆食器類を変更 (小鉢の購入) します。	実施済。 (評価) 計画通り実施できたことは評価できる。次年度、深皿を購入予定。
◆嗜好調査を活用し施設の食事「おいしい」「まあまあおいしい」併せた利用者・職員平均95%を目指します。	実施済。平均94%。未達成。 (評価) 計画通り実施できたことは評価できる。次年度は引き続き95%を目指す。
◆検食簿評価の主菜について、味付け「良い」「やや良い」併せた年間平均値95%をめざします。	上半期平均値99%。下半期99%。年間平均値99%。達成。 (評価) 計画通り実施できたことは評価できる。次年度も上半期95%以上維持を目指す。

生活介護くろす

第4期3か年計画

- 23 充実した活動への取り組み
- 24 サービスの質の向上への取り組み
- 25 感染症対策強化への取り組み
- 26 安定した運営への取り組み

2024年度取り組み

23 充実した活動への取り組み

実施内容	実績
<p>◆リハビリ提供の満足度評価をもとに、満足度向上につながる能動的なリハビリ提供をめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ニーズが高いリハビリ用品の整備 ②モチベーションをあげる声掛け等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ①エルゴメーター購入済み ②具体的な声掛けにモチベーションが上がるとの声が聞かれ、実施している。 <p>(評価) ニーズの高いリハビリ用品を購入したことは評価できる。</p>
<p>◆ニーズ調査の結果をもとに、活動の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ボランティアや家族が参加できるイベントの実施 ②生産品販売の利用者参加 	<ul style="list-style-type: none"> ①10月の音楽の日、クリスマス会でご家族がそれぞれ6組10名、4名参加されている。 ②めぐみ祭りにて実施。2名参加。 <p>(評価) ご家族・ご利用者が複数回参加されたことは評価できる。</p>
<p>◆活動を発表する機会を増やします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①アートギャラリー（HP・作品展） ②音楽の日 	<ul style="list-style-type: none"> ①HPのアートギャラリーでご利用者の作品が定期的にアップされている。めぐみ祭りでの作品展、文化作品展で2回作品展を実施している ②音楽の日を3回実施（くろす内）。三芳町福祉まつりステージイベントに7名のご利用者が参加、楽曲を発表している。 <p>(評価) 活動を発表する機会を増やせたことは評価できる。</p>

24 サービスの質の向上への取り組み

実施内容	実績				
<p>◆CSの向上に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①サービス職について学ぶ（接客マナー） ②利用者満足度調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①接遇：所内研修3回実施。呼称の取り組み、表情、挨拶、言葉づかいについての取り組みを実施。 ②実施済み。 <p>(評価) 接遇の研修・CSを実施できたことは評価できる。CSについては取り組む時期を早めにする。</p>				
<p>◆業務マニュアルをもとに業務を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①業務マニュアルを職員に誘致 ②新人職員に対しOJTを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①感染症マニュアル・送迎マニュアルの更新済み ②OJT実施済み <p>(評価) 業務マニュアルの更新ができ、OJTを実施したことは評価できる。</p>				
<p>◆職員の健康増進のための取り組みをおこないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①腰痛予防のための機器の活用、環境設定をおこないます。 ②事務時間を確保し、残業を減らすための取り組みをおこないます。 	<ul style="list-style-type: none"> ①PTと連携し腰ベルト着用・リフター使用促進中。 ②勤務表上で事務時間を確保した。 <p>総残業時間数</p> <table border="0"> <tr> <td>2023年度上半期</td> <td>440時間 / 25人</td> </tr> <tr> <td>2024年度上半期</td> <td>307時間 / 24人</td> </tr> </table> <p>(評価) 事務時間の確保ができたことで全体の残業時間を削減できたことは評価できる。</p>	2023年度上半期	440時間 / 25人	2024年度上半期	307時間 / 24人
2023年度上半期	440時間 / 25人				
2024年度上半期	307時間 / 24人				

25 感染症対策強化への取り組み

実施内容	実績
◆感染症対策マニュアルをもとに、新人職員等にOJTを実施します。	OJT実施済み (評価) 計画通り実施できたことは評価できる。

26 安定した運営への取り組み

実施内容	実績
◆地域でのニーズに応え医療的ケアの方を定員の20%受け入れられるような体制を整えます。 ①ガイドラインの見直し ②介護職員の第3号研修の継続	①月に一度の会議を実施し、ガイドラインの見直し終了。 2025年4月より新しいガイドライン施行。 ②喀痰吸引は下半期に3名の介護職員に座学・実技実施するも、1名のみ修了。 経管栄養は、介護職員2名修了。対象利用者が入院した為、2名が研修途中。 (評価) 医療的ケアの方の20%受け入れはかなわなかったが、ガイドラインの見直しと研修が通年で実施できたことは評価できる。
◆定員超過に関する課題に取り組みます。 ①新規事業の検討に合わせ利用者のニーズを調査します	①利用希望と終了には1年でも波があり、利用率は不安定さがみられた。くろすには入浴・医療的ケア・リハビリ希望の利用者が多く、新規の問い合わせもそれらが多かったので、利用の空きについての情報提供や入浴枠拡大のための業務の効率化についても取り組みを始めている。 (評価) 利用率が年間で大きく変化することがあるので、早めに対応していく必要がある。

相談支援センターかしの木

■第4期3か年計画

27 安定した運営の構築

28 相談員としての品質向上に向けて

■2024年度取り組み

27 安定した運営の構築

実施内容	実績
<p>◆働きやすい職場環境づくりに取り組みます。</p> <p>①在宅ワーク体制導入へ向けて推進します。</p> <p>②業務効率化を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 書類関係の整理 訪問時のタブレット、モバイルプリンターの試行 <p>③相談室の整備を行います。</p>	<p>①在宅ワーク体制、未実施 (評価)別項目でタブレットの試行を開始しており、そちらの進捗に合わせて再度検討する。</p> <p>② ・日常業務の書類の置き場所や管理方法について整理。次年度も継続。 (評価)ケースファイルについては内容の検討余地あり。大規模災害時が起こっても対応できるようにする必要がある。 ・タブレット、プリンターの試行を開始。 (評価)環境の問題で期間中12件のうち5件が業務ソフトなどに接続できず。 成功したケースではその場で署名をもらう事ができ、訪問回数減や時間経過による認識違いから書面修正のリスク減、希望時にその場で情報提供できるメリットが実感できた。持ち運びにやや困難さあり。 ③相談室整備。フロアマットを敷き相談室のレイアウト一新。 (評価)利用者評価は高いが、建物の老朽化のため雨漏りの問題がある。</p>
<p>◆職員のストレスケアに取り組みます。</p>	<p>2月18日に相談員全員が参加し陶芸・そば打ち体験を行った。 (評価)後日、評価アンケート実施。 心理的には幸福感、リラックス、楽しいなどのポジティブ評価が多く、自由記載については主として協働感が得られた評価が多く、大きな効果が得られた。</p>
<p>◆三芳町委託相談業務連絡会議等にて三芳町福祉課や町内の相談支援事業所との地域連携をおこないます。</p>	<p>①三芳町委託相談業務連絡会議に参加 →4月23日、5月22日、6月25日、7月24日、8月28日、9月24日、10月23日、1月21日、2月26日、3月26日に実施。 (評価)約2年間定例で開催実施できた事は評価できる。今後困難ケースの事例検討や業務内容の精査など一層の発展を目指して協議していくことが望ましい。</p> <p>②三芳町相談支援事業所連絡会議に参加 →4月25日、5月30日、6月27日、7月25日、8月29日、9月19日、10月24日、11月28日、12月26日、2月27日、3月27日に実施。 (評価)今年度から行政主導で設立。通年して会議に参加する事ができた。町内の各相談事業所が常に意見交換することができる場を持つことが出来た事は評価できる。 会議内容として他会議との重複や時間的・人的問題により出席可能な事業所が限られている点は課題が残る。</p>
<p>◆業務記録の期限内提出のために1日のうち事務時間の義務化を試行します。</p>	<p>相談支援センター9月会議にて、毎日朝礼後の事務時間義務化を設定も実施されず。 3月同会議内で対応策を検討。 (評価)書類によって進捗が遅れが見られ継続課題。 入力事務固定時間を定着させていく。</p>
<p>◆業務マニュアルの作成をおこないます。</p>	<p>相談支援センター会議内で、加算運用マニュアル作成を作成開始、次年度も継続。 (評価)各相談員の経験によりフローが違うため、マニュアルに含む内容項目から、価値観まで議論していく必要がある。</p>

実施内容	実績
◆モニタリングを確実に実施します。 (月内予定に対しての達成率70%)	予定月内に完了できたモニタリング数(計画更新+モニタリング)は下記のとおり(※月遅れで実施したものは除く)。 4月 22/30件(73%) 5月 18/38件(47%) 6月 32/48件(67%) 7月 25/39件(64%) 8月 29/44件(66%) 9月 29/60件(48%) 10月 27/39件(69%) 11月 26/40件(65%) 12月 32/56件(57%) 1月 23/49件(47%) 2月 26/46件(57%) 3月 45/57件(79%) 2024年度 334/546(62%)(2023年度 349/529 65.9%) (評価)実施数は昨年を下回ったものの、昨年度より体制としては専従の相談員が減った中で実績をほぼ維持できた点は評価できる。

28 相談員としての品質向上に向けて

実施内容	実績
◆新人教育マニュアル作成をおこないます。	相談支援業務ソフトの使用方法についてのマニュアルを作成。 (課題) 全体的なマニュアルに関しては育成項目の検討以外に入職する職員によってはバックボーンに違いがあるため、それに対応できる内容が必要。
◆研修や勉強会に参加します。	◆各種研修会に参加した ・リタリコワークス研修～発達障害の理解～(4月27日) ・基幹相談支援センター強化研修(11月22日) ・埼玉県基幹相談支援センター・協議会担当職員研修(11月27日) ・リタリコワークス研修「発達障害児者の経済支援と対策」(12月21日) ・埼玉県社協主催 リスクマネジメント研修(12月12日) ・地域精神保健医療福祉推進会議(5月16日) ・朝霞保健所管轄精神障害者地域支援体制構築会議及び精神障害者支援地域協議会(11月20日) ・朝霞保健所主催引きこもり支援者研修会(1月31日) ・三芳町引きこもり支援者連絡会(1月29日) ・厚生労働省障害者地域生活支援体制整備事業「オンライン研修」(1月30日) ・三芳町福祉課主催研修「発達障がい児者の理解と対応方法について」(3月4、12日) ・精神保健個別支援技術研修会(7月11日) ・相談支援従事者初任者研修(7月15、16日)(11月28、29日) ・三芳町自立支援協議会 (1)障がい児支援検討部会(10月17日、12月24日、2月12日、3月12日) (2)就労支援部会(10月21日) (3)相談支援部会(10月17日、2月12日、3月19日) ・西部ブロック会議(9月10日、10月7日、3月19日) ・川越同仁会病院お家に帰ろうプロジェクト(9月25日、12月25日、3月19日) ・強度行動障害支援者(基礎・実践)研修(9月29日)(10月6日、13日、20日) ・医療的ケア児等コーディネーター養成研修(10月22日、29日) ・医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修(1月20日) ・医療的ケア児の災害対策研修(2月17日) ・ふじみ野市相談支援包括化推進会議(2月13日) ・全国身障協地域生活支援推進研究会議12月(3、4日) (評価)非常に多くの研修、会議に参加をした1年で体制加算に算定該当ものにも参加することが出来た。
◆会議内で事例検討を定例化します。	相談支援センターかしの木事例検討会を実施。 (6月25日、8月27日、9月24日、10月22日、11月26日、12月24日、1月28日、2月27日、3月27日) (評価)本年度より事例検討を定例化することができた。 意見交換により気づきを生み、学習する機会となっている。 時間内で業務効率化の一環からCoPilotの練習といった形に囚われない形での勉強会に発展しつつある。
◆他機関との交流をおこない、地域についての理解を深めます	実績なし。 (評価)職員定着に従い各機関との繋がりは個人単位ではできつつある。事業所間での繋がりととしては日常業務が優先されるため計画的に行う必要がある。

地域生活サポートセンター らいと

■第4期3か年計画

- 29 安定した運営、サービスの質の向上への取り組み
- 30 事業所拡大への取り組み

■2024年度取り組み

29 安定した運営、サービスの質の向上への取り組み

実施内容	実績
◆緊急時対応を含めた業務マニュアルの作成をおこないません。	未実施 (評価) 情報は集めているが、作成までは至らなかった
◆利用者満足度調査(アンケート)をおこないません。	未実施 (評価) 3月におこなう予定だったが、次年度に延期した。
◆利用待機ができる仕組みを検討します。	実施 (評価) 朝の支援に関しては、空きが出たら案内するようにリスト化していく。
◆運転業務もできるパート職員の採用(1名以上)を目指します。	未達成 (評価) 9月から、登録ヘルパー1名が運転業務ありの非常勤(フルタイム)に勤務形態を変更している。 3月に、運転できる登録ヘルパー1名採用

30 事業所拡大への取り組み

実施内容	実績
◆事業所の移設を検討します。	実施 (評価) 4月より、近い市町村間での支援の流れを作り、ヘルパーの予定を組んでいる。概ね問題なし。

のびる作業所：就労支援係

第4期3か年計画

- 31 一般就労へ向けた支援強化（就労移行）
- 32 就労に自信が持てる支援の実施（就労継続支援B型）
- 33 安定した運営への取り組み

2024年度取り組み

31 一般就労へ向けた支援強化（就労移行支援）

実施内容	実績
<p>◆一般就労への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ①3名以上の就職を目指します。 ②就職後の職場定着率100%を目指します。 ③障害者雇用を1名行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ①未達成 年間 2名。 7月1名 8月1名 ②達成 過去半年定着率100% ③実施 4月から1名採用 (評価) 一般企業への就職者は計画通りに行うことが出来なかったが、2名の就職が出来たことや、定着率、障害者雇用の実施が計画通り行えたことは評価できる。
<p>◆施設外就労の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ①障害者支援施設において清掃作業の継続をします。 ②障害者支援施設において環境整備作業を継続します。 ③近隣高齢者施設において環境整備作業を継続します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①継続中 ②継続中 ③継続中 (評価) 継続して支援をして利用者の変化が見られていることは評価出来る。
<p>◆就労移行支援のプログラム実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ①座学の継続をします。 ②施設外就労を通じて社会性を養う支援をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ①実施 毎月1度SSTを実施 ②実施 (評価) 計画通り実施し、利用者の一般企業への就職の意識に変化が見られたことは評価できる。

32 就労に自信が持てる支援の実施（就労継続支援B型）

実施内容	実績
<p>◆就労移行へのステップアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①1名以上就労移行へステップアップを目指します。 ②就労移行と就労継続支援B型の作業場所をすみわけし、意欲が向上するよう支援をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ①実施 年間1名 4月1名 ②実施 (評価) 計画通り実施できたことは評価出来る。またB型利用者の一般就労への意識向上が見られた。
<p>◆社会性を養う支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施設外就労への参加をします。 ②年間行事を通じマナーを身に着けられる支援をおこないます。 ③施設外就労に参加し社会性を養う支援を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①実施 ②実施 7月20日 工場見学実施 10月19日 研修旅行実施 11月2日 研修旅行実施 12月7日 大掃除 2月8日 交流会 ③実施 (評価) 計画通り実施できたことは評価出来る。施設外就労先でものびる作業所の認知がされていることにも意義がある。
<p>◆作業工賃支給方法の検討をします。</p>	<p>実施 年間工賃平均：25,076円 4月作業分(5月支給)より100円～200円日額増額 3月工賃支給時に特別手当20,000円支給 (評価) 作業収支が好調だったため、年度末に特別手当を支給できた。</p>
<p>◆文化芸術活動への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ①法人の文化作品展への出展をします。 ②三芳町福祉祭りへ作品の出展をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ①実施 2月20日～2月26日展示 ②実施 11月24日出展 (評価) 計画通り実施できたことは評価出来る。次年度は賞が取れるような作品を目指す。
<p>◆多種多様な障害に対し支援ができるよう研修に参加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①精神障害に関する研修に参加します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①実施 5月埼玉県精神保健研修(動画視聴)に参加。 3月三芳町の発達障害研修に参加。 (評価) 計画通り実施できたことは評価出来る。今後はアウトプットしていくことに課題が残る。

33 安定した運営への取り組み

実施内容	実績
<p>◆就労継続支援B型の平均利用率100%を維持します。</p>	<p>達成 年間120.9% 上半期120.4%(施設外就労含む150%) 下半期121.3%(施設外含む154.9%) (評価)計画通りに実施できたことは評価できる。</p>
<p>◆利用者充足のための取り組み</p> <p>①特別支援学校、行政、各支援機関への訪問をおこないます。</p> <p>②特別支援学校、各支援機関から実習生の受け入れをおこないます。</p>	<p>①実施</p> <p>10月 おおぞら特支学校公開へ参加 12月 富士見特支学校公開へ参加 2月 富士見特支保護者勉強会へ講師として参加</p> <p>②実施 4名 5月1名 6月1名 7月1名 12月1名</p> <p>(評価) 実習を通じ新卒者をB型1名、獲得できたことは評価できる。</p>

のびる作業所：就労生活介護係

第4期3か年計画

- 34 活動の充実に向けた取り組み
- 35 安定した運営と強化への取り組み

2024年度取り組み

34 活動の充実に向けた取り組み

実施内容	実績
◆生産活動における作業の充実 ①現在おこなっている作業だけでなく、多様な作業ができる様検討します。 ②将来、就労継続支援B型を希望している利用者に対し体験の時間を設けます。	①実施 マラソンに使用する、GPSのチップ作業の検討をしたが利用者に合わなかった。 ②実施 毎月1度就労継続支援B型の作業場で活動 (評価)新たな作業を行うには至らなかったが、利用者、職員ともに挑戦できたことは評価できる。 B型体験は、システム化し、安定して実施することが次年度の課題。
◆ニーズに合わせた活動の実施 ①利用者のニーズに合わせたユニット活動をおこないます。 ②利用者ニーズに合わせた年間行事をおこないます。	①実施 毎週木曜日の午前中にクラブ活動を行っている。 ②実施 年間11回 4月：イースター 5月：鯉のぼりイベント 7月：七夕イベント 8月：夏祭り 9月：誕生日会 10月：ハロウィンパーティー 11月：秋の遠足 12月：クリスマス会 1月：新年会 2月：誕生日会 3月：花見会 (評価)計画通り実施することが出来た。利用者も大変楽しみにしており楽しい活動の提供が出来た。マンネリをしないようなイベントに工夫をしていく課題が残った。
◆文化芸術活動への参加 ①法人の文化芸術祭へ出展。 ②三芳町福祉まつりへの出展。	①実施 2月20日～2月26日展示 ②実施 11月24日出展 (評価)計画通り実施できたことは評価出来る。 次年度は賞が取れるような作品を目指す。

35 安定した運営と強化への取り組み

実施内容	実績
◆利用者充足のための取り組み ①特別支援学校、行政、各支援機関への訪問をおこないます。 ②特別支援学校、各支援機関から実習生の受け入れをおこないます。	①実施 10月 おおぞら特支学校公開へ参加 11月 富士見特支学校公開へ参加 2月 富士見特支保護者勉強会へ講師として参加 ②実施 8名受け入れ 7月1名 8月1名 9月3名 10月1名 12月1名 2月1名 (評価)実習を通じ新卒者を1名、獲得できたことは評価できる。
◆年間平均利用率100%を目指します。	未達成 年間91.5% 上半期 90.7% 下半期 92.6% (評価)達成することが出来なかったが年間を通じ徐々に利用率が上昇してきていることは評価できる。
◆活動場所拡充の検討をおこないます。	実施 新事業開始に伴い検討中。 (評価)icoil開所に伴い活動内容の精査を行った、次年度は新たな活動を実施し評価していく。

すてっぷ

第4期3か年計画

- 36 安定したサービス提供への取り組み
- 37 安定した運営への取り組み
- 38 環境改善への取り組み

2024年度取り組み

36 安定したサービス提供への取り組み

実施内容	実績
<p>◆利用者主体の余暇活動実施</p> <p>①地域行事の参加や外出支援など感染症対策をとりながら取り組みます。</p>	<p>実施。</p> <p>【すてっぷ】9月みよしまつりに参加。じゃがバター屋を出店し、調理、販売おこなった。</p> <p>11月 映画観賞会 1月2月横浜日帰り旅行</p> <p>その他、情報提供や調整をおこない外部サービスを利用し外出されている。</p> <p>(評価) 感染症の影響もなく計画通り実施できたことは評価できる。</p> <p>【いっぽ】土日を利用し、近隣の商業施設等に個別外出。</p> <p>8月4年ぶりに地域の納涼祭参加。</p> <p>10月グランドゴルフ大会参加</p> <p>ごみゼロ運動参加</p> <p>その他、情報提供や調整をおこない外部サービスを利用し外出されている。</p> <p>(評価)</p> <p>4年ぶりの自治会夏祭りへの参加となったが「いっぽの人ですよ」と声をかけられることもあり、地域の人の記憶に残るホームになったと感じた。</p>
<p>◆社会性を養う取り組み（社会の中で暮らしていくためのスキル）を継続します。</p> <p>①それぞれの課題を見つけ個別の支援を行ないます。</p>	<p>①個別の課題に合わせた支援の実施と継続。実施。</p> <p>金銭管理や言葉遣い、日常生活に関わる課題を個別に行った。</p> <p>(評価) 個別の課題を見つけ支援を行っていたが、支援する時間の確保が難しかった。</p>
<p>◆一人暮らしへ向けた取り組み</p> <p>①サテライトを活用し一人暮らしへ向けた支援をおこないます。</p>	<p>①1名利用継続中。実施</p> <p>週3回訪問し、相談、金銭管理の確認や衛生管理を行った。</p> <p>就労支援センターと連携し就労に向けた支援を継続している。</p> <p>(評価) 継続して実施できている。</p>

37 安定した運営への取り組み

実施内容	実績
◆いっぽの安定した運営への取り組みとして、事業展開をすすめていきます。	5月 ふじみ野 space 説明会（GH 職員向け）実施 （評価）いっぽ職員向けの説明会が出来たが、実際の開所までには時間あるため具体的な進捗は無かった。
◆すてっぷ短期入所事業の効率的な活用方法を検討し、利用率を50%目指します。	実施。8月利用率向上のため利用に向けたアンケート実施。 長期利用及び再利用の声かけをご家族に行った。 利用率 7.3% （評価）長期利用者を確保できなかった 定期的に利用する方が減り、新たな利用を確保できなかった。 また、介助度が高く利用につながらないケースもあった。
◆利用希望待機者リストの見直しをし、意向調査をおこないます。	実施。8月にアンケートを実施しリスト化おこなった。 （評価）利用を希望する方はいたが「将来的に」利用したいと言う回答が多く、すぐの利用には至っていない。
◆感染症及び自然災害時の対策に取り組みます。 ①感染症及び自然災害のBCPの見直しをおこないます。 ②感染予防の環境づくりを継続しておこないます。	実施。 ①各BCP及び感染症マニュアルの見直しならび変更をおこなった。 ②継続した感染対策をおこなった。 （評価）継続した実施がおこなえており、ホーム内でのクラスターなど発生はなかった。

38 環境改善への取り組み

実施内容	実績
◆空調設備や付帯設備等の修繕をおこないます。 ①設備機能維持のための清掃等をおこないます。	実施 ①7月すてっぷ 業者によるワックス清掃 7月いっぽ業者による居室のエアコン清掃 12月すてっぷエアコンフィルター清掃 （評価）定期的に実施することが出来た。 ※その他環境改善への取り組み 4月すてっぷ建物周辺の除草作業 5月すてっぷ、いっぽ建物周辺の除草 6月すてっぷ建物周辺の防草シート張り 7月すてっぷ、いっぽ建物周辺の除草 8月すてっぷ 建物周辺の防草シート張り 9月すてっぷ 建物周辺の防草シート張り
◆職場環境で活用できるITシステムの調査をおこないます。	未実施。Teamsのチャット機能を活用し部署内の掲示板として活用 （評価）特に新たな取り組みはおこなっていない。
◆防犯への取り組み。防犯カメラやその他防犯設備の設置に関して検討をおこないます。	実施。3月センサーライト2台設置 （評価）防犯対策の一つとしてセンサーライトの取り付けをおこなえたが、防犯対策としてのカメラの取り付けは、今後も必要と思われる。

		危機管理委員会			
		事故防止部会	権利擁護・虐待 (身体拘束)防止部会	防災・防犯部会	安全・衛生・ 働きやすさ部会部会
		実績	実績	実績	実績
4月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	第1回会議(第4水曜日) ・年間活動計画について ・事故報告システム ・事故検討 ・ヒヤリハット分析	第1回(26日) ・年間計画の確認 ・今年度課題の確認 ・啓発活動の実施計画 ・研修の実施計画 ・身体拘束の把握	第1回(16日) ・年間活動 ・防犯訓練 ・次年度からの引継ぎ ・設備班、訓練班の検討事項	第1回(17日) ・河野先生より「メンタルヘルスの是非」について ・労災1件 ・通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・今年度の取り組みについて
5月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	第2回会議(第4水曜日) ・事故報告システム ・職員研修 ・事故検討 ・ヒヤリハット分析	第2回(24日) ・年間計画の確認 ・今年度課題の確認 ・啓発活動の内容検討 ・研修の実施告知 ・法人全体での身体拘束人数把握	第2回会議(21日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し	第2回(15日) ・河野先生より「肩こり」について ・労災0件 ・通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・ストレスチェック課題抽出後のアンケートについて ・エコ活動(電気、ガス使用量と料金の確認)
6月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	第3回会議(第4水曜日) ・事故報告システム ・職員研修 ・事故検討 ・ヒヤリハット分析	第3回(28日) ・啓発活動の内容検討 ・虐待防止チェックリスト実施 ・研修の内容検討 ・法人全体での身体拘束人数把握	3回会議(18日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し	第3回(19日) ・河野先生より「腰痛」について ・労災1件 ・通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・ストレスチェック課題抽出後のアンケート結果について ・エコ活動(電気、ガス使用量と料金の確認)
7月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	第4回会議(第4水曜日) ・事故報告システム ・職員研修 ・事故検討 ・ヒヤリハット分析	第4回(28日) ・啓発活動の実施 ・虐待防止チェックリスト集計 ・虐待防止・身体拘束研修の実施(昼の部) ・法人全体での身体拘束人数把握	第4回会議(16日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・非常災害対策計画について	第4回17日 ・河野先生より「日焼け」について ・労災1件 ・通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・健康宣言ステージIIについて ・エコ活動(電気、ガス使用量と料金の確認)
8月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	第5回会議(第4水曜日) ・事故報告システム ・職員研修 ・事故検討 ・ヒヤリハット分析	第5回(23日) ・啓発活動の実施 ・グレーゾーンアンケート実施 ・虐待防止・身体拘束研修の振り返り ・法人全体での身体拘束人数把握	第5回会議(20日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・非常災害対策計画について	第5回21日 ・河野先生より「汗疹」について ・労災なし ・通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・健康宣言について、ポスター作成 ・エコ活動(電気、ガス使用量と料金の確認) ・新しいインフルエンザワクチンの危険性について
9月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	第6回会議(第4水曜日) ・事故報告システム ・職員研修 ・事故検討 ・ヒヤリハット分析	第6回(27日) ・グレーゾーンアンケートの集計、フィードバックの実施 ・虐待防止・身体拘束研修の実施(夜の部) ・法人全体での身体拘束の課題の抽出	第6回会議(17日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・非常災害対策計画について	第6回(18日) ・河野先生より「アトピーとアレルギー」について ・労災1件 ・通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・下半期のハラスメント研修について ・エコ活動(電気、ガス使用量と料金の確認)

危機管理委員会					
		事故防止部会	権利擁護・虐待 (身体拘束)防止部会	防災・防犯部会	安全・衛生・ 働きやすさ部会部会
		実績	実績	実績	実績
10月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	第7回会議(第4水曜日) ・事故報告システム ・職員研修 ・事故検討 ・ヒヤリハット分析	第7回(25日) ・グレーゾーンアンケートの 集計 ・啓発活動の実施 ・虐待防止・身体拘束研修の 実施(昼の部) ・前回の振り返り ・法人全体での身体拘束の 課題の抽出	第7回会議(15日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・非常災害対策計画について 検討 ・すてっぷ火災想定避難訓練 (28日)	第7回(16日) ・河野先生インフルエンザ 予防接種の不在 ・労災なし ・通勤災害なし ・特定行為:問題なし ・健康宣言ステップIIの 認定証が届く ・エコ活動(電気、ガス使用 量と料金の確認)
11月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて ・事故案件について報告 (くろす) ・虐待報告案件について報告 (かしの木)	第8回会議(第4水曜日) ・事故報告システム ・職員研修 ・事故検討 ・ヒヤリハット分析	第8回(22日) ・グレーゾーンアンケートの 集計 ・虐待防止・身体拘束研修の 振り返り ・法人全体での座位保持装置 と身体拘束に関するあり方 の検討	第8回会議(20日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・いっぽ火災想定避難訓練 (22日) ・かしの木、いっぽ、ふれあい センター火災想定避難訓練	第8回(20日) ・河野先生「免疫」について ・労災1件 ・通勤災害なし ・特定行為:問題なし ・ストレスチェックについて ・エコ活動:電気使用量確認 のために、別の方法につい ての検討
12月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	第9回会議(第4水曜日) ・事故報告システム ・職員研修 ・事故検討 ・ヒヤリハット分析	第9回(27日) ・グレーゾーンアンケートの フィードバック ・虐待防止・身体拘束研修の 実施(夜の部) ・法人全体での座位保持装置 と身体拘束に関するあり方 の検討	第9回会議(17日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・のびる作業所火災想定避難 訓練(24日)	第9回(18日) ・河野先生 「ヒートショック」について ・労災1件 ・通勤災害1件 ・特定行為:問題なし ・ストレスチェック提出率に ついて ・エコ活動(電気、ガス使用 量と料金の確認)
1月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	第10回会議(第4水曜日) ・事故報告システム ・職員研修 ・事故検討 ・ヒヤリハット分析	第10回(24日) ・虐待防止・身体拘束研修の 振り返り ・次年度の虐待防止・身体拘 束研修内容について ・次年度の啓発活動の内容に ついて ・法人全体での座位保持装置 と身体拘束に関するあり方 の各部署の検討報告	第10回会議(21日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・防災・防犯研修について 検討	第10回(15日) ・河野先生 「AG薬品」について ・労災なし ・通勤災害なし ・特定行為:問題なし ・ストレスチェックの結果に ついて ・エコ活動(電気、ガス使用 量と料金の確認)
2月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	第11回会議(第4水曜日) ・事故報告システム ・職員研修 ・事故検討 ・ヒヤリハット分析	第11回(28日) ・虐待防止・身体拘束研修の 実施 ・次年度の虐待防止・ 身体拘束研修内容について ・啓発活動の実施 ・今年度の啓発活動の 効果測定の実施 ・法人全体での座位保持装置 と身体拘束に関するあり方 の各部署の検討報告	第11回会議(19日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・防災・防犯研修について 検討 ・研修報告 ・応急手当講習(26日)	第11回(19日) ・河野先生 「片頭痛」について ・労災なし ・通勤災害なし ・特定行為:問題なし ・ストレスチェック結果の 課題抽出について
3月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	第12回会議(第4水曜日) ・事故報告システム ・職員研修 ・事故検討 ・ヒヤリハット分析 ・交通安全運動週間 ・次年度引継ぎ事項確認	第11回(28日) ・虐待防止・身体拘束研修の 振り返り ・次年度の虐待防止・ 身体拘束研修内容について ・今年度の啓発活動の 効果測定の実施	第12回会議(18日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・防災・防犯研修について 検討 ・炊き出し訓練(17日) ・すてっぷ・いっぽ火災想定 避難訓練実施(14日) ・かしの木地震想定避難訓練 (19日)	第12回(19日) ・河野先生 「うつ病」について ・通勤災害なし ・特定行為:問題なし ・ストレスチェック結果の 課題抽出と各部署の 検討結果について ・エコ活動(電気、ガス使用 量と料金の確認)

	行事・広報委員会	苦情解決委員会	個人情報保護委員会	感染症対策委員会
	実績	実績	実績	実績
4月	めぐみの森発行（10日） 会議なし	経営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施	第1回（5日） ・「感染症対策委員会要綱」の確認 ・年度目標および年間計画立案 ・各事業所コロナ感染者数報告 ・感染対策指針に基づき「日常支援の感染管理」の取り組み内容検討 ・感染症発生時におけるBCPの進捗確認 ・研修計画 ・訓練計画 ・事業継続支援チーム活動報告
5月	第1回会議（11日） 書面での開催 ・めぐみ祭について （各役割より進捗状況について） ・大掃除について ・めぐみの森について	経営会議内での会議実施 ・要綱の変更について	経営会議内での会議実施 ・要綱の変更について	第2回（10日） ・各事業所コロナ感染者数報告 ・感染対策指針に基づき「日常支援の感染管理」の取り組み内容決定 ・感染症発生時におけるBCPの進捗確認 ・研修計画 ・訓練計画 ・事業継続支援チーム活動報告
6月	第2回会議（8日） ・めぐみ祭について めぐみ祭中止 ・大掃除について ・めぐみの森について	営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施	第3回（7日） ・各事業所コロナ感染者数報告 ・感染対策指針に基づき「日常支援の感染管理」の取り組み状況報告 ・感染症発生時におけるBCPの進捗確認 ・研修計画：①感染症対策指針とBCP配布。 ・訓練計画 ・事業継続支援チーム活動報告
7月	第3回会議（13日） ・めぐみ祭について （代替行事について検討） ・大掃除について （法人行事としては中止） ・めぐみの森について	経営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施	第4回（5日） ・各事業所コロナ感染者数報告 ・感染対策指針に基づき「日常支援の感染管理」の取り組み状況報告 ・感染症発生時におけるBCPの進捗確認 ・研修計画：①感染症対策指針とBCP配布。QRコードでテスト実施。 ・訓練計画 ・事業継続支援チーム活動報告
8月	めぐみの森発行（13日） 第4回会議（10日） ・めぐみ祭について （代替行事について検討） ・大掃除について （法人行事としては中止） ・めぐみの森について	経営会議内での会議実施 ・苦情公表の方法について	経営会議内での会議実施	第5回（2日） ・各事業所コロナ感染者数報告 ・感染対策指針に基づき「日常支援の感染管理」の取り組み状況報告 ・感染症発生時におけるBCPの進捗確認 ・研修計画：感染症対策指針とBCP配布。QRコードでテスト実施。テスト集計。 ・訓練計画：ガウンテクニック動画視聴・実技チェック。 ・事業継続支援チーム活動報告
9月	第5回会議（14日） ・めぐみ祭内部のみ開催 ・大掃除について （法人行事としては中止） ・めぐみの森について	経営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施	第6回（6日） ・各事業所コロナ感染者数報告 ・感染対策指針に基づき「日常支援の感染管理」の取り組み状況報告 ・感染症発生時におけるBCPの進捗確認 ・研修計画：②感染症発生時における業務継続計画（BCP）を利用した行動確認に関するテスト実施。 ・訓練計画：ガウンテクニック動画視聴・実技チェック。 ・事業継続支援チーム活動報告

	行事・広報委員会	苦情解決委員会	個人情報保護委員会	感染症対策委員会
	実績	実績	実績	実績
10月	第6回会議（12日） ・次年度めぐみ祭について検討開始 ・大掃除について（法人行事としては中止） ・文化作品展について ・めぐみの森について ・SNSについて	経営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施	第7回（4日） ・各事業所コロナ感染者数報告 ・感染対策指針に基づき「日常支援の感染管理」の取り組み状況報告 ・感染症発生時におけるBCPの進捗確認 ・研修計画：②感染症発生時における業務継続計画（BCP）を利用した行動確認に関するテスト実施。 ・訓練計画：ガウンテクニック動画視聴・実技チェック。 ・事業継続支援チーム活動報告
11月	第7回会議（9日） ・次年度めぐみ祭について検討開始 ・大掃除について（各事業所ごとに実施） ・めぐみの森について ・SNSについて	経営会議内での会議実施 ・苦情報告（かしの木ss）	経営会議内での会議実施	第8回（1日） ・各事業所コロナ感染者数報告 ・感染対策指針に基づき「日常支援の感染管理」の取り組み状況報告 ・感染症発生時におけるBCPの進捗確認 ・研修計画：②感染症発生時における業務継続計画（BCP）を利用した行動確認に関するテスト実施。 ・訓練計画：①ガウンテクニック動画視聴・実技チェック。 ②BCPに基づき訓練シナリオ作成 ・事業継続支援チーム活動報告
12月	第8回会議（14日） ・次年度めぐみ祭について検討開始 ・大掃除について（各事業所ごとに実施） ・めぐみの森について ・SNSについて	営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施	第9回（6日） ・各事業所コロナ感染者数報告 ・感染対策指針に基づき「日常支援の感染管理」の取り組み状況報告 ・感染症発生時におけるBCPの進捗確認 ・研修計画：②感染症発生時BCPを利用した行動確認に関するテスト実施。 ・訓練計画：①ガウンテクニック動画視聴・実技チェック。 ②BCPに基づき訓練実施と報告書 ・事業継続支援チーム活動報告
1月	第9回会議（11日） ・次年度めぐみ祭について ・大掃除について（各事業所ごとに実施） ・めぐみの森発行 ・SNSについて	経営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施	第10回（10日） ・各事業所コロナ感染者数報告 ・感染対策指針に基づき「日常支援の感染管理」の取り組み状況報告 ・感染症発生時におけるBCPの進捗確認 ・研修計画：②感染症発生時BCPを利用した行動確認に関するテスト実施。 ・訓練計画：①ガウンテクニック動画視聴・実技チェック。 ②BCPに基づき訓練実施と報告書 ・事業継続支援チーム活動報告
2月	第10回会議（8日） ・次年度めぐみ祭について ・大掃除について（各事業所ごとに実施） ・めぐみの森について ・SNSについて	経営会議内での会議実施 苦情報告（すてっぶ）	経営会議内での会議実施	第11回（7日） ・各事業所コロナ感染者数報告 ・感染対策指針に基づき「日常支援の感染管理」の取り組み状況報告 ・感染症発生時におけるBCPの進捗確認 ・研修計画：②感染症発生時BCPを利用した行動確認に関するテスト実施。 ・訓練計画：①ガウンテクニック動画視聴・実技チェック。 ②BCPに基づき訓練実施と報告書 ・事業継続支援チーム活動報告
3月	第11回会議（14日） ・次年度めぐみ祭について ・めぐみの森について ・SNSについて	経営会議内での会議実施 ・苦情報告（かしの木ss）	経営会議内での会議実施	第12回（7日） ・各事業所コロナ感染者数報告 ・感染対策指針に基づき「日常支援の感染管理」の取り組み状況報告 ・感染症発生時におけるBCPの進捗確認 ・研修計画：②感染症発生時BCPを利用した行動確認に関するテスト実施。 ・訓練計画：①ガウンテクニック動画視聴・実技チェック。 ②BCPに基づき訓練実施と報告書 ・事業継続支援チーム活動報告

2024年度 苦情解決委員会 事業報告

苦情解決委員会では毎月1回経営会議内で委員会を開催し、理事長、各局長、各施設長を含めた委員によって各事業所の苦情対応の進捗確認を実施し、著しいものに対しては委員会が解決に向けて指導している。

2024年は2件の苦情を受付けた。苦情を受付けた事業所はくろす（1件）、すてっぴ（1件）となっている。

くろすの概要は、職員のご利用者に対する接遇などの苦情であった。臨時苦情解決委員会を招集し、対応を検討、事業所内で解決に至った。

すてっぴ概要は、近隣住民の方より利用者の不適切な排泄行為に関する苦情であった。臨時苦情解決委員会を招集し、対応を検討、事業所内で解決に至った。

2024年度決算報告

2024年度決算報告について

2024年度はふじみ野 SPACE 事業の立ち上げに向けた人員確保や体制整備を進めるとともに、継続する物価高騰による影響への対策にも取り組みました。また、組織の持続的成長を支える基盤づくりとして、人財育成にも一層力を入れ、職員一人ひとりのスキル向上と組織力の強化に努めてまいりました。これらを踏まえ、決算内容を報告いたします。

事業活動収入は790,378,136円で、対予算5,626,148円減額、対前年37,616,450円増額という結果でした。主な要因は各サービスの利用率増加等による増収となりました。

人件費については、506,991,852円で、対予算2,152,483円減額、対前年25,196,335円増額、という結果でした。

事業費は、108,944,213円、対予算1,983,787円減額、対前年3,686,069円増額であり、事務費は116,104,329円、対予算4,074,671円減額 対前年6,858,174円増額という結果でした。

その他の活動による収支は、長期貸付金回収として5,040,000円、積立資金取崩収入6,739,000円。支出は積立資産支出 5,715,200円でした。

当期資金収支差額は481,391円であり、対予算481,391円増額、対前年2,220,920円減額という結果でした。当期末支払資金残高は149,024,381円となります。事業活動計算書は当期活動増減差額が△5,798,614円、次期繰越活動増減差額が589,912,611円という結果でありました。

2024年度決算内訳

科目	予算執行状況	
収入の部	事業活動収入計 790,378,136 円	
	対予算 9,191,864 円減 対前年 37,616,450 円増	
	対前年増減の要因	
	増加要因（対前年）	
	相談	557,212 円増
	生活介護（かしの木）	17,027,131 円増
	入所	6,913,630 円増
	短期入所	3,372,785 円増
	らいと	6,011,670 円増
	のびる継続支援B型	7,024,652 円増
	生活介護（のびる）	2,957,033 円増
	すてっぷ	4,310,484 円増
	減少要因（対前年）	
生活介護（くろす）	4,007,418 円減	
就労移行支援	5,555,422 円減	
作業収入	4,082,432 円減	

科 目	予算執行状況
支出の部 人件費支出	人件費 506,991,852 円 対予算 5,626,148 円減 対前年 25,196,335 円増
事業費支出	事業費 108,944,213 円 予算 1,983,787 円減 対前年 3,686,069 円増 対予算・対前年増減の要因 給食費 22,940,930 円 対予算 351,070 円減 対前年 675,887 円増 水道光熱費 25,408,737 円 対予算 278,263 円減 対前年 2,407,726 円増
事務費支出	事務費 116,104,329 円 対予算 4,074,671 円減 対前年 6,858,174 円増 対予算・対前年増減の要因 福利厚生費 4,175,235 円 対予算 324,235 円増 対前年 1,381,489 円増 旅費交通費 3,165,363 円 対予算 104,363 円増 対前年 229,282 円増 研修研究費 2,523,314 円 対予算 393,686 円減 対前年 531,409 円増 広報費 4,830,465 円 対予算 482,465 円増 対前年 3,965,040 円増
就労支援事業支出	就労支援事業支出 32,063,400 円 (資金収支) 32,268,010 円 (活動収支) 対予算 1,138,400 円増 対前年 2,911,046 円増 対予算・対前年増減の要因 作業収入 33,017,520 円 対予算 2,207,480 円減 対前年 4,082,432 円減
その他活動収支出の部	その他の活動収入 157,748,773 円 対予算 24,217,227 円減 [主な内訳] 長期貸付金回収収入 5,040,000 円 積立資金取崩収入 6,739,000 円 その他の活動支出 151,684,973 円 対予算 22,801,027 円減 [主な内訳] 積立資産支出 5,715,200 円

資金収支内訳表

(自)令和06年04月01日 (至)令和07年03月31日

(単位：円)

勘定科目	社会福祉事業	公益事業	合計	内部取引消去	法人合計		
事業活動による収入	就労支援事業収入	33,017,520	0	33,017,520	0	33,017,520	
	障害福祉サービス等事業収入	734,968,458	0	734,968,458	0	734,968,458	
	生活困窮者に対する相談支援事業収入	45,143	0	45,143	0	45,143	
	その他の事業収入	0	17,014,140	17,014,140	0	17,014,140	
	経常経費寄附金収入	601,000	0	601,000	0	601,000	
	受取利息配当金収入	66,872	0	66,872	0	66,872	
	その他の収入	4,665,003	0	4,665,003	0	4,665,003	
	事業活動収入計(1)	773,363,996	17,014,140	790,378,136	0	790,378,136	
	事業活動による支出	人件費支出	506,871,852	120,000	506,991,852	0	506,991,852
		事業費支出	102,067,913	6,876,300	108,944,213	0	108,944,213
事務費支出		105,992,809	10,111,520	116,104,329	0	116,104,329	
就労支援事業支出		32,063,400	0	32,063,400	0	32,063,400	
生活困窮者に対する相談支援事業支出		45,143	0	45,143	0	45,143	
支払利息支出		2,083,788	0	2,083,788	0	2,083,788	
事業活動支出計(2)		749,124,905	17,107,820	766,232,725	0	766,232,725	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	24,239,091	-93,680	24,145,411	0	24,145,411		
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	550,000	0	550,000	0	550,000	
	施設整備等収入計(4)	550,000	0	550,000	0	550,000	
	施設整備等による支出	設備資金借入金元金償還支出	28,884,000	0	28,884,000	0	28,884,000
		固定資産取得支出	1,282,500	0	1,282,500	0	1,282,500
		ファイナンス・リース債務の返済支	111,320	0	111,320	0	111,320
施設整備等支出計(5)	30,277,820	0	30,277,820	0	30,277,820		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-29,727,820	0	-29,727,820	0	-29,727,820		
その他の活動による収入	長期貸付金回収収入	5,040,000	0	5,040,000	0	5,040,000	
	積立資金取崩収入	6,739,000	0	6,739,000	0	6,739,000	
	事業区分間繰入金収入	0	93,680	93,680	-93,680	0	
	その他の活動収入計(7)	11,779,000	93,680	11,872,680	-93,680	11,779,000	
その他の活動による支出	積立資産支出	5,715,200	0	5,715,200	0	5,715,200	
	事業区分間繰入金支出	93,680	0	93,680	-93,680	0	
	その他の活動支出計(8)	5,808,880	0	5,808,880	-93,680	5,715,200	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	5,970,120	93,680	6,063,800	0	6,063,800		
当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)	481,391	0	481,391	0	481,391		
前期末支払資金残高(12)	148,542,990	0	148,542,990	0	148,542,990		
当期末支払資金残高(11)+(12)	149,024,381	0	149,024,381	0	149,024,381		

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
小口現金	本部			4,648		4,648
小口現金	いっぽ			88,528		88,528
小口現金	のびる			4,937		4,937
小口現金	くろす			7,734		7,734
小口現金	かしの木			32,725		32,725
小口現金	すてっぶ			8,846		8,846
普通預金	埼玉りそな鶴瀬支店 普通3811529			4,525,197		4,525,197
普通預金	埼玉りそな鶴瀬支店 普通3851798			5,000,000		5,000,000
普通預金	埼玉りそな鶴瀬支店 普通4179413			718,652		718,652
普通預金	埼玉りそな鶴瀬支店 普通3811768			29,891,212		29,891,212
普通預金	埼玉りそな鶴瀬支店 普通3811826			19,558,636		19,558,636
	小計			59,841,115		59,841,115
未収金						
未収金	本部		ソウェルクラブ	178,800		178,800
未収金	かしの木		国民健康保険団体2月・3月等	115,257,446		115,257,446
未収金	すてっぶ		国民健康保険団体2月・3月等	15,278,066		15,278,066
未収金	のびる		国民健康保険団体2月・3月等	27,248,108		27,248,108
	小計			157,783,620		157,962,420
立替金						
立替金	本部		職員他	61,269		61,269
立替金	かしの木		利用者	16,910		16,910
立替金	すてっぶ		利用者医療費	11,545		11,545
立替金	のびる		のびる食事他	745,800		745,800
	小計			835,524		835,524
前払金						
前払金	すてっぶ		貸借代4月分	1,119,000		1,119,000
	小計			1,119,000		1,119,000
前払費用						
前払費用	すてっぶ		更新手数料	129,900		129,900
	小計			129,900		129,900
仮払金						
仮払金	法人本部		奨学金等	2,261,600		2,261,600
仮払金	法人本部		その他	201,095		201,095
仮払金	かしの木		その他	231,000		231,000
仮払金	のびる		その他	118,800		118,800
	小計			2,812,495		2,812,495
流動資産合計						222,700,454

全社

法人単位資金収支計算書

(自)令和06年04月01日 (至)令和07年03月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による収入	就労支援事業収入	35,225,000	33,017,520	2,207,480		
	障害福祉サービス等事業収入	742,359,000	734,968,458	7,390,542		
	生活困窮者に対する相談支援事業収入	100,000	45,143	54,857		
	その他の事業収入	16,850,000	17,014,140	-164,140		
	経常経費寄附金収入	1,000,000	601,000	399,000		
	受取利息配当金収入	66,000	66,872	-872		
	その他の収入	3,970,000	4,665,003	-695,003		
	事業活動収入計(1)	799,570,000	790,378,136	9,191,864		
	事業活動による支出	人件費支出	512,618,000	506,991,852	5,626,148	
		事業費支出	110,928,000	108,944,213	1,983,787	
事務費支出		120,179,000	116,104,329	4,074,671		
就労支援事業支出		30,925,000	32,063,400	-1,138,400		
生活困窮者に対する相談支援事業支出		100,000	45,143	54,857		
支払利息支出		2,133,000	2,083,788	49,212		
事業活動支出計(2)		776,883,000	766,232,725	10,650,275		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		22,687,000	24,145,411	-1,458,411		
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	0	550,000	-550,000		
	施設整備等収入計(4)	0	550,000	-550,000		
	施設整備等による支出	設備資金借入金元金償還支出	28,884,000	28,884,000	0	
		固定資産取得支出	1,283,000	1,282,500	500	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	0	111,320	-111,320	
施設整備等支出計(5)	30,167,000	30,277,820	-110,820			
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-30,167,000	-29,727,820	-439,180		
その他の活動による収入	長期貸付金回収収入	5,040,000	5,040,000	0		
	積立資金取崩収入	11,740,000	6,739,000	5,001,000		
	その他の活動収入計(7)	16,780,000	11,779,000	5,001,000		
	その他の活動による支出	積立資産支出	9,300,000	5,715,200	3,584,800	
その他の活動支出計(8)		9,300,000	5,715,200	3,584,800		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		7,480,000	6,063,800	1,416,200		
予備費支出(10)		0	-	0		
当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	481,391	-481,391		
前期末支払資金残高(12)		148,542,990	148,542,990	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)		148,542,990	149,024,381	-481,391		

法人単位事業活動計算書

(自)令和06年04月01日

(至)令和07年03月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	33,017,520	37,099,952	△4,082,432
		障害福祉サービス等事業収益	734,968,458	693,880,110	41,088,348
		三芳町ふれあいセンター事業収益	17,014,140	16,840,230	173,910
		生活困窮者に対する相談支援事業収益	45,143	5,157	39,986
		経常経費寄附金収益	601,000	823,000	△222,000
	サービス活動収益計(1)		785,646,261	748,648,449	36,997,812
	費用	人件費	510,178,052	484,464,757	25,713,295
		事業費	108,944,213	105,258,144	3,686,069
		事務費	116,104,329	109,245,095	6,859,234
		就労支援事業費用	32,268,010	29,285,821	2,982,189
生活困窮者に対する相談支援事業費用		45,143	5,157	39,986	
減価償却費		46,222,637	50,439,841	△4,217,204	
国庫補助金等特別積立金取崩額		△19,669,422	△20,668,812	999,390	
サービス活動費用計(2)		794,092,962	758,030,003	36,062,959	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△8,446,701	△9,381,554	934,853	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	66,872	1,273	65,599
		その他のサービス活動外収益	4,665,003	4,111,964	553,039
	サービス活動外収益計(4)		4,731,875	4,113,237	618,638
	費用	支払利息	2,083,788	2,265,100	△181,312
		サービス活動外費用計(5)		2,083,788	2,265,100
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		2,648,087	1,848,137	799,950	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△5,798,614	△7,533,417	1,734,803	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	550,000	0	550,000
		その他の特別収益	0	12,116,592	△12,116,592
		特別収益計(8)	550,000	12,116,592	△11,566,592
	費用	国庫補助金等特別積立金積立額	550,000	0	550,000
		その他の特別損失	0	3,020,300	△3,020,300
特別費用計(9)		550,000	3,020,300	△2,470,300	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		0	9,096,292	△9,096,292	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△5,798,614	1,562,875	△7,361,489	
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額(12)		591,501,225	593,898,350	△2,397,125
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		585,702,611	595,461,225	△9,758,614
	その他の積立金取崩額(15)		5,000,000	0	5,000,000
	その他の積立金積立額(16)		△790,000	△3,960,000	3,170,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		589,912,611	591,501,225	△1,588,614

法人単位貸借対照表

令和07年03月31日現在

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	222,700,454	231,196,510	△8,496,056	流動負債	103,698,549	111,537,520	△7,838,971
現金預金	59,841,115	74,775,178	△14,934,063	その他の未払金	62,920,947	71,278,441	△8,357,494
未収金	157,962,420	151,305,021	6,657,399	1年以内返済予定設備資金借入金	28,884,000	28,884,000	0
立替金	835,524	965,211	△129,687	1年内返済予定リース債務	1,138,476	0	1,138,476
前払金	1,119,000	1,119,000	0	職員預り金	2,055,390	2,179,644	△124,254
前払費用	129,900	318,900	△189,000	仮受金	7,444,236	8,879,935	△1,435,699
仮払金	2,812,495	2,713,200	99,295	未払消費税等	1,255,500	315,500	940,000
固定資産	2,240,066,830	2,284,710,985	△44,644,155	固定負債	408,661,691	429,017,395	△20,355,704
基本財産	2,056,009,322	2,091,232,206	△35,222,884	設備資金借入金	300,346,275	329,230,275	△28,884,000
土地	1,317,597,382	1,317,597,382	0	長期運営資金借入金	60,000,000	60,000,000	0
建物	693,119,520	717,652,411	△24,532,891	リース債務	5,383,696	0	5,383,696
建物付属	45,292,420	55,982,413	△10,689,993	退職給付引当金	42,931,720	39,787,120	3,144,600
その他の固定資産	184,057,508	193,478,779	△9,421,271				
土地	23,330,000	23,330,000	0				
建物	4,309,047	4,487,703	△178,656				
建物付属設備	5,406,641	7,426,363	△2,019,722				
構築物	3,541,107	5,886,637	△2,345,530				
機械及び装置	63,989	86,501	△22,512				
車両運搬具	988,602	151,345	837,257				
器具及び備品	12,776,335	15,294,362	△2,518,027				
有形リース資産	6,427,259	0	6,427,259	負債の部合計	512,360,240	540,554,915	△28,194,675
権利	4,901,859	5,376,493	△474,634	純資産の部			
ソフトウェア	5,195,918	8,217,224	△3,021,306	基本金	1,023,991,616	1,023,991,616	0
長期貸付金	13,860,000	18,900,000	△5,040,000	国庫補助金等特別積立金	276,332,817	295,479,739	△19,146,922
退職給付引当資産	42,931,720	39,787,120	3,144,600	修繕積立金	59,810,000	64,020,000	△4,210,000
修繕積立資産	59,810,000	64,020,000	△4,210,000	工賃変動積立金	360,000	360,000	0
工賃変動積立資産	360,000	360,000	0	次期繰越活動増減差額	589,912,611	591,501,225	△1,588,614
保証金	20,000	20,000	0	(うち当期活動増減差額)	△5,798,614	1,562,875	△7,361,489
車両リサイクル預託金	18,120	18,120	0				
その他の固定資産	116,911	116,911	0				
				純資産の部合計	1,950,407,044	1,975,352,580	△24,945,536
資産の部合計	2,462,767,284	2,515,907,495	△53,140,211	負債及び純資産の部合計	2,462,767,284	2,515,907,495	△53,140,211

社会福祉事業 事業区分資金収支内訳表

(自)令和06年04月01日 (至)令和07年03月31日

(単位：円)

勘定科目		法人本部(拠)	かしの木	すてっぶ(拠)	のびる(拠)	合計	内部取引消去	
事業活動による収入	就労支援事業収入	0	291,271	0	32,726,249	33,017,520	0	
	障害福祉サービス等事業収入	2,212,491	571,953,066	66,630,065	94,172,836	734,968,458	0	
	生活困窮者に対する相談支援事業収入	0	45,143	0	0	45,143	0	
	経常経費寄附金収入	0	601,000	0	0	601,000	0	
	受取利息配当金収入	38,425	17,111	9,467	1,869	66,872	0	
	その他の収入	1,202,181	3,296,222	151,300	15,300	4,665,003	0	
	事業活動収入計(1)	3,453,097	576,203,813	66,790,832	126,916,254	773,363,996	0	
	事業活動による支出	人件費支出	36,652,798	351,186,421	48,834,478	70,198,155	506,871,852	0
		事業費支出	868,973	80,931,309	15,255,594	5,012,037	102,067,913	0
		事務費支出	7,968,893	92,790,124	1,818,567	3,415,225	105,992,809	0
就労支援事業支出		0	303,410	27,500	31,732,490	32,063,400	0	
生活困窮者に対する相談支援事業支出		0	45,143	0	0	45,143	0	
支払利息支出		0	1,542,207	0	541,581	2,083,788	0	
事業活動支出計(2)		45,490,664	526,798,614	65,936,139	110,899,488	749,124,905	0	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-42,037,567	49,405,199	854,693	16,016,766	24,239,091	0		
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	0	0	0	550,000	550,000	0	
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	550,000	550,000	0	
	施設整備等による支出	設備資金借入金元金償還支出	0	22,380,000	0	6,504,000	28,884,000	0
		固定資産取得支出	0	1,282,500	0	0	1,282,500	0
		ファイナンス・リース債務の返済支	0	0	0	111,320	111,320	0
施設整備等支出計(5)	0	23,662,500	0	6,615,320	30,277,820	0		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	-23,662,500	0	-6,065,320	-29,727,820	0		
その他の活動による収入	長期貸付金回収収入	0	0	0	5,040,000	5,040,000	0	
	積立資金取崩収入	5,000,000	1,739,000	0	0	6,739,000	0	
	拠点区分間繰入金収入	37,200,000	14,954,000	0	0	52,154,000	-52,154,000	
	その他の活動収入計(7)	42,200,000	16,693,000	0	5,040,000	63,933,000	-52,154,000	
	その他の活動による支出	積立資産支出	0	4,925,200	0	790,000	5,715,200	0
		事業区分間繰入金支出	0	93,680	0	0	93,680	0
		拠点区分間繰入金支出	0	37,200,000	854,000	14,100,000	52,154,000	-52,154,000
		その他の活動支出計(8)	0	42,218,880	854,000	14,890,000	57,962,880	-52,154,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	42,200,000	-25,525,880	-854,000	-9,850,000	5,970,120	0	
	当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)	162,433	216,819	693	101,446	481,391	0	
前期末支払資金残高(12)	5,850,404	112,509,558	19,421,011	10,762,017	148,542,990	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	6,012,837	112,726,377	19,421,704	10,863,463	149,024,381	0		

社会福祉事業 事業区分資金収支内訳表

(自)令和06年04月01日 (至)令和07年03月31日

(単位：円)

勘定科目		事業区分合計				
事業活動による収支	収入					
	就労支援事業収入	33,017,520				
	障害福祉サービス等事業収入	734,968,458				
	生活困窮者に対する相談支援事業収入	45,143				
	経常経費寄附金収入	601,000				
	受取利息配当金収入	66,872				
	その他の収入	4,665,003				
	事業活動収入計(1)	773,363,996				
	支出					
	人件費支出	506,871,852				
事業費支出	102,067,913					
事務費支出	105,992,809					
就労支援事業支出	32,063,400					
生活困窮者に対する相談支援事業支出	45,143					
支払利息支出	2,083,788					
事業活動支出計(2)	749,124,905					
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	24,239,091					
施設整備等による収支	収入					
	施設整備等補助金収入	550,000				
	施設整備等収入計(4)	550,000				
	支出					
	設備資金借入金元金償還支出	28,884,000				
固定資産取得支出	1,282,500					
ファイナンス・リース債務の返済支出	111,320					
施設整備等支出計(5)	30,277,820					
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-29,727,820					
その他の活動による収支	収入					
	長期貸付金回収収入	5,040,000				
	積立資金取崩収入	6,739,000				
	拠点区分間繰入金収入	0				
	その他の活動収入計(7)	11,779,000				
	支出					
	積立資産支出	5,715,200				
	事業区分間繰入金支出	93,680				
	拠点区分間繰入金支出	0				
	その他の活動支出計(8)	5,808,880				
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	5,970,120					
当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)	481,391					
前期末支払資金残高(12)	148,542,990					
当期末支払資金残高(11)+(12)	149,024,381					

